

平成6年12月1日

エイズに関わるすべての人々の 心をつなぎ助け合いたい

区職員も「レッドリボン運動」に参加

豊島区では、10月のエイズ知ろう館」のオープンをはじめ、地域団体やグループ支援、エイズ街頭キャンペーン等を実施している。

世界エイズデー（12月1日）、東京都エイズ予防月間（11月16日から12月15日）にあわせて、区職員、区議会議員もエイズに対する関心をより高めるため「レッドリボン運動」に参加し、胸にレッドリボンを付け執務している。

また、来庁者でご希望の方には、自由に受け取ることができるよう、レッドリボンを各窓口カウンターに設置している。

— レッドリボン運動とは —

レッドリボンはエイズに対する理解と支援のシンボルです。

この運動は、ニューヨークのアーティスト達（主に演劇、音楽関係者）がエイズで亡くなった人達を追悼したり、エイズで苦しんでいる人々やその家族、ボランティアを含む医療関係者への支援を表すものとして始められました。血と情熱を意味する赤いリボンを付けることによってエイズに対する差別や偏見を取り除き、エイズに関わるすべての人々の心をつなぎ助け合いたい、という気持ちを視覚的に訴えるものです。

詳細 健康課